

因島の勞賃争議 形勢悪化の兆あり職工側結束に努む

三庄工場の職工約三百名は八日午前十時から同村の勞働總同盟支部に會合し
た上三庄工場の門前に押し寄せ示威運動を試みたのを警備中の警官が解散
を命じたので會社門前は一旦解散したが直ぐ其足で三庄遊廓附近で會合し
た上午前七時土生町に赴き同町の争議團と合し約六百の人員に達したので
同町大山神社に集合午後一時から演説會を開き各自交々起つて團員の結束
を堅うして飽く迄も會社側に當り扱はならぬと説き大に氣勢を揚げ形勢又復悪
化せんとする傾向がある。

争議團員に就いて訓戒

日本勞働總同盟三庄支部では争議に名を藉り所因がり争議金を募集しつゝ、
あるのを警告戒中の警官が発見し此際争議金を募集するは可とするも争議
團員は之を拒み警官の手に渡さずして上でせぬと云ふので訓戒を受け

けた。

修繕船は全部回航して持久戦に備ふ

一部軟派職工の内通に依り開場した大阪鐵工所因島工場其後の出勤者は別
段減りもせねば増加もせず相変らず二百五十名内外の出勤者あり争議團側は於
ては焚き出し等して食を分配しながら結果の堅からん事に努むると同時に一面
軟派職工の出勤を阻止せん事にも努め軟派職工としては青服の上に日本服を着て
工場に入らんとするもの等あり夫れを看破して其處に一場の珍劇を演ずる様な
事もあり會社側としては解決は付うせ水引くものと見越して過日迄止め置いた一
二の修繕船は櫻島の本工場の方に回漕して持久戦に備へて居る。

解散を命じ正に修羅場 四名を檢束

八日午後一時より因島土生町大山神社に演説會を開ける争議團六百餘名は同三
時過ぎ右演説を終り隊伍を整へ三時半因島工場前まで歸つた際先頭が丁度歩
行を留めた為め後列から次第に詰め掛け遂に列を乱して一團となり形勢又復